

RWPPI: RWプロダクツ プロモーション イニシアティブ
RDVDC: 記録型DVD会議

DVD機器業界最大規模の共同互換性試験を終了 52社が参加し、133モデルで互換性を確認

RWプロダクツ プロモーション イニシアティブ(略称RWPPI、代表:相澤宏紀)と記録型DVD会議(略称RDVDC、議長:具 本國)は、2003年9月より共同で実施していた記録可能なDVDである4倍速DVD-R、2倍速DVD-RW、3倍速DVD-RAMそれぞれに対応した製品間での互換性試験をこのたび終了し、6月16日に合同で検証結果を会員に報告するとともに、今回の成果をそれぞれのホームページで公開いたします。

このたびの共同互換性試験では、参加企業総数52社、試験項目総計351項目、試験製品機器総数133モデルに及び、記録可能なDVDに関連する世界のほぼ全ての主要なメーカー(ハード、メディア、PCアプリケーション他)の機器、製品間において、対象とする速度(DVD-R:4倍速、DVD-RW:2倍速、DVD-RAM:3倍速)での記録・再生互換に関する検証が行われました。RWPPIラウンドロビンテストと、RDVDC互換性ワーキンググループ双方の会員が、所属団体に限定されずに互いの互換性試験に参加する形態で共同互換性試験が進められました。具体的には、以下のような成果が得られました。

- (1) DVD-R/DVD-RWディスクと対応ライターの記録物理特性に関して、ディスク18社、22モデル、及びライター12社、12モデル間で、合計78項目の試験を行い、安定した記録品質が確保されている事を確認した。
- (2) DVD-R/DVD-RW対応ライターに関して、11社、11モデル間にて合計135の確認項目の論理互換性試験を実施、参加モデル間での記録・再生互換性が確認され、規格に関する一層の共通理解を深めることができた。
- (3) DVD-R/DVD-RW対応レコーダー、及びPCオーサリングソフトに関して、12社、12モデル間での記録・再生・編集機能27項目(ビデオモード、及びVRモード)全てにわたって高い互換性が確認された。
- (4) DVD-R/DVD-RW対応プレーヤー、ドライブ、及びPC再生ソフトウェアに関して、合計23社による多様な42モデルにより、上記(3)で録画されたディスクを使用し5項目での再生互換性評価を行い、広範な環境下での再生互換を確認した。
- (5) 3倍速DVD-RAMテスターを保有する9社間で、25項目の試験を行い、各社のテスター間で互換性が確保されることを確認した。また統一試験方法を確立し、評価用標準ディスクも作成した。
- (6) 3倍速DVD-RAMディスクとドライブに関して、11社、12モデル間での34項目の試験を行い、参加製品間の互換性を確保した。また統一試験方法を確立し、評価用標準ディスクも作成した。
- (7) DVD-RAM向けDVD-VRモード対応製品に関して、9社、13モデル間で47項目の試験を行い、参加製品間で互換性を確保した。また、統一試験方法を確立した。

参加メーカーの一社である株式会社東芝 首席技監の山田尚志氏は、「DVDは、規格の検証、互換性の

確認試験などを実施して、信頼性の向上に努めて参りました。その甲斐あって市場では、機器とディスクの互換性が確立していると言う評判を得ています。しかし、品質の管理はたゆみなく行って初めてお客様の信頼を得られるものです。DVDフォーラムが策定したDVD規格(フォーマット)に準拠したDVD記録再生機器とディスク、ソフトを生産する世界の主要メーカーが一堂に会して実施したこの共同互換性試験は、DVD製品の信頼性を高め、お客様からの信頼向上のためにたいへん重要な意義があると思います。今後とも業界全体の活動として定着することを望みます。」と語りました。

RW PPIとRDVDCは、現在進めている共同互換性試験を今後開発される一層の高倍速メディアに対しても継続し、更なる参加企業を加え、製品間での記録・再生互換性を高めることで、今後のDVD市場全体の発展のために積極的に参加して参ります。

RW プロダクツ プロモーション イニシアティブ<<http://www.rwppi.com>>

RW PPIは、DVDディスクへの録画、再生を可能にしたDVD-R / DVD-RW規格に基いた関連製品の市場における円滑な普及・促進を目指しています。2000年5月に発足以来、DVD-R / DVD-RW製品に関する各種標準仕様の提案やハードとディスクの互換性の確保などの活動を通じて、お客様の満足度の向上を図っていきます。

記録型DVD会議 <<http://www.rdvdc.org>>

記録型DVD会議は、DVDフォーラムで策定された記録型DVD規格(DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW)の普及・促進を図るために、2001年4月に発足しました。会員相互の情報交換、互換性向上の推進、展示会での製品共同プロモーションなどの活動を行っています。

< 報道関係からのお問い合わせ先 >

RW プロダクツ プロモーション イニシアティブ事務局 電話:03 - 3495 - 9876

記録型DVD会議 事務局 電話:06 - 6905 - 4118

< 付録 > 今回の共同互換性試験に参加したメーカー (50音順)

Ahead Software AG、アルパイン株式会社、株式会社アルメディア、インタービデオジャパン株式会社、株式会社インターメディア、Infodisc Technology Co., Ltd.、株式会社 AMC、SKC Co.,Ltd、MJC(SINGAPORE) PTE LTD、LG 電子ジャパン株式会社、Optodisc Technology Corporation、オリオン電機株式会社、Gigastorage Corporation、株式会社ケンウッド、サイバーリンク株式会社、三星電子株式会社、三洋電機株式会社、CMC Magnetics Corporation、シナノケンシ株式会社、株式会社シバソク、シャープ株式会社、ソニー株式会社、Software Architects, Inc.、太陽誘電株式会社、ティアック株式会社、TDK株式会社、株式会社デジオン、株式会社デノン、株式会社東芝、東芝サムスン ストレージ・テクノロジー株式会社、日本電気株式会社、日本ビクター株式会社、NewSoft Technology Corporation、パイオニア株式会社、パナソニック コミュニケーションズ株式会社、パルステック工業株式会社、株式会社日立 LG データストレージ、株式会社日立製作所、日立マクセル株式会社、株式会社ピー・エイチ・エー、富士写真フイルム株式会社、船井電機株式会社、Prodisc Technology Inc.、松下寿電子工業株式会社、松下電器産業株式会社、三菱化学メディア株式会社、三菱電機株式会社、MedioStream, Inc.、ヤマハ株式会社、ユーリードシステムズ株式会社、Ritek Corporation、Lead Data Inc.